

平成 31 年度 環境活動スタート事業

1 実施校

会津若松ザベリオ学園中学高等学校

2 実施日

令和元年 11 月 30 日（土）

3 講演会の様子

『大きく変わる「水環境」と私たちの生活を考える』をテーマに、NPO法人いわき環境研究室 橋本 孝一氏を講師として実施しました。地球温暖化に伴う異常気象（河川災害・水害）やSDG sを中心に、過去に起きた地域の災害やハザードマップ等を用いながら参加した生徒にわかりやすくご講演いただきました。



4 講演を聞いての感想

- ・地球温暖化によって土地がどう影響を受けるのかを知りました。注意・警報・緊急・災害発生の際の対策法はためになりました。
- ・地球温暖化と水害に因果関係があるとは考えていなかったため、地球温暖化防止の心がけが水害防止にもつながると思い、身近なところから行動していこうと思いました。

※次のページに進む

- 流れの向きで名前をつけるなど、川について新たな情報が得られました。生活に有益なことをもたらした川でも台風や大雨で水量が増えると危険なものにもなります。ハザードマップ等を確認し、すみやかに避難を行えるようにしていこうと思いました。各家で、水を貯める発想はいいなと思いました。確かにトイレ等は雨水でも問題ないと思いました。海や空気にも密接な関係のある川をよくしていかななくては、と思いました。
- 気温が1℃上がるだけで水の蒸発量が大きく変わることがわかりました。今年は台風など自然災害がたくさんあり、身近な場所でも浸水がおきたりしたので怖いと思いました。いつ自分の身に危険が及ぶかわからないので、備えておくことは大事だなと思いました。
- 川の名前の由来に興味をもちました。川に4つの種類があり、管理するところが違うことを知り驚きました。10月に台風が来たこともあり、雨による災害をとっても身近なものに感じていました。川や川による被害について詳しく知ることができてよかったです。災害を少しでも減らすために、個人でできること、社会全体で行うべきことについて考えていきたいと思えます。
- 水害が会津でも起こりうる可能性があることを知って備えていく必要があると思えました。私のまわりには多くの高齢者が住んでいるので、いざという時、多くの人を助けられるように、今から考え行動していきたいと思えます。まず、川を知ることから始めたいと思えます。
- 1.5℃以下に気温上昇の温度差を抑えないと4億人もの犠牲ができるかもしれないことに驚きました。日頃から自分ができる環境にかかわる良いことを実践していこうと思えました。
- 上流でもそこまできれいではないことや学校周辺の川などについて知ることができました。また、温暖化によって起こることもたくさんあると思うので、私も小さなことを一つ一つできたらいいなと思えました。
- 会津は水害が起きないから災害の話あまり身近に感じることはできないでいましたが、今回の講演を聞いて理解できました。水害が起りやすい= (イコール) 地球温暖化が進んでいるとわかりました。
- 気温の上昇によって水蒸気量が6～7%増加したことにより、雨が降っていることがわかりました。今回の台風は過去の台風の雨量を上回ったと聞き、これからはもっと災害に対策していくべきだと思えました。
- 地球温暖化による不可逆的な変化に対応していくのが大事だと思えました。
- 川について今まで考えたことがなかったけど、川に興味をもちました。川には一つ一つ名前に由来があったことに驚きました。身のまわりの川の名前について調べようと思えました。地球温暖化や台風被害についても、もっと知らなくてはいけないと思えました。